

あおもり漁連

故 植村正治氏 書

甦れ!! 協同組合運動

No. 161



平成27年度 本会通常総会



水産庁長官へ要請(太平洋クロマグロ資源管理)

CONTENTS

平成27年度 青森県漁連通常総会開催	1
県漁連新役員体制・県漁連機構改革	3
共販推進会議開催	4
太平洋クロマグロ資源管理について	5
むつ湾漁業振興会設立40周年記念式典開催	7
青森県 漁師自慢の魚「プライドフィッシュ」発進	9
水産に関する主な動き(1月～7月)	11
県内漁協組合長改選状況報告・県漁連新人職員紹介	13

2015.8

資源・金融・共済の三本柱推進

平成二十七年
度
(第六十六事業年度)

青森県漁連通常総会開催

去る、六月十七日、青森県水産ビル七階大会議室において、青森県漁連平成二十七年(第六十六事業年度)通常総会を開催し、平成二十六年決算、平成二十七年事業計画、役員補欠選任に関する件など七議案が審議され、原案通り承認決定された。



開催にあたり、赤石会長が次の通り挨拶を述べた。

『我が国の水産業は、漁獲量の減少、漁業者の高齢化や減少、慢性的な魚価の低迷及び漁業資材の高騰等、多くの課題に直面しております。』

このような中であって、我々JFグループは、水産資源の回復や担い手の育成・確保並びに漁業所得向上対策、浜の活力再生プランの策定・実践等、積極的にその役割を果たすことが求められております。

これに対し、昨年十一月二十一日に全国の漁協代表者らによる「JF全国代表者集会」が開催され、向こう五年間のJF運動方針及び「水産日本の復活と水産政策の確立に関する特別決議」が採択されました。

また、集会終了後、「燃油価格高騰対策及び漁業用軽油にかかる免税措置の堅持を求める全国漁業代表者集会」が引き続き開催され、漁業コスト構造改革緊急対策の継続・強化、並びに漁業用軽油にかかる軽油引取税の免税措置を堅持することが特別決議として採択されました。

しかしながら、我々JFグループの進む道筋は依然として険しく、漁業が生き残るための大きな分岐点にあることに変わりはありません。この難局を乗り切るため、引き続き関係当局に對する行動を展開して参りますので、皆様には今後ともご協力をお願い申し上げます。

さて、本県の漁業につきましては、ホタテのへい死や成長不良、スルメイカをはじめとする本県主要魚種の漁獲不振と魚価の低迷等、依然として厳しい状況にあることを踏まえ、県内の四地区において、県漁連・信漁連役員と組合長・筆頭職員との地区別会議を開催し、「JFグループの運動方針」と本会の今後五カ年の基本方針を示し、会員にご理解とご協力を求めたところであります。

また、漁家・漁協経営の安定を図るため、浜の活力再生プランや漁業経営セーフティネット構築事業の促進、各種水産事業の活用等、事業展開を行って参りました。

更に、福島第一原発事故に起因する汚染水問題につきましては、抜本的な対策を講じるよう、全漁連と連携し強く要請するとともに、風評被害賠償を東京電力に交渉・請求し、平成二十五年度までの賠償金支払いは完了致しております。

沿岸・沖合漁業については、共存共栄が可能な操業体制構築による「漁業資源の確立」、漁業者の所得安定のための「漁業金融の円滑化」、「漁業共済加入促進」の三本柱による循環型漁業構築を強力に実践し、これまで以上に資源管理型漁業の推進と漁業経営の安定・向上に努める所存でございます。

さて、本会の平成二十六年の事業状況であります。後程、専務及び担当者の説明があり



成田県水産部長祝辞



赤石会長挨拶



会員組合長

ますが、当期剰余金においては、一、五〇〇万円を計上することが出来ました。

尚、会員各位に対しましては、業務部門で奨励金及び施設助成金等で約四、二〇〇万円をお支払い致しております。このことは、各事業において効率的・合理的な運営を心がけ、鋭意努力して参りましたこともさることながら、会員皆様方のご支援・ご協力の賜と心より感謝申し上げます。

終わりに、新年度においても厳しい経営を強いられるものと思われませんが、協同組合の原点に立ち返り、本県漁業・水産業の安定と発展に寄与すべく業務に邁進して参りますので、特段のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

続いて、来賓を代表して、三村申吾青森県知事（成田青森県農林水産部長代読）より祝辞があり、その後、佐藤博 小泊漁協組合長を議長に選出し議事に入った。

議事では、第一号議案の平成二十六年事業報告、貸借対照表、損益計算書、注記表及び剰余金処分案に関する件を始めとする七議案について審議が行なわれ、いずれも原案通り承認決定された。

{平成27年度事業計画}

基本方針

内閣府が発表した平成27年度の我が国経済の見通しは、実質労働者報酬の伸びと雇用・所得環境の改善により、好循環から更に進展するとともに、交易条件も改善する中で、堅調な民需に支えられた景気回復が見込まれる、となっております。

このような見通しであります。本県漁業を取り巻く環境が一気に好転する兆しは未だ見え、漁獲・魚価・消費の低迷、後継者不足、漁業用資材の高騰、重量30キロ未満のクロマグロの漁獲規制など、厳しい経営環境が続くものと思われ。

また、多くの漁協におきまして、依然として経営が極めて厳しい状況にあることから、経営の健全化と機能強化に重点をおいた組織強化への取り組みが極めて重要となっており、このため、JFグループ新運動方針の3つの柱である「浜の活力再生」・「組織・事業基盤の確立と人づくり」・「JFの役割発揮」に重点的に取り組むことが急務となっております。

また、沿岸・沖合漁業の共存共栄が可能な「水産資源管理体制の確立」、漁業者の所得安定のための「漁業金融の円滑化」・「漁業共済の加入推進」の実践による循環型漁業構築を強力に推進するとともに、燃油や資材等の価格上昇が漁業経営を圧迫していることから、省エネ対策等の推進、生産コストの削減、漁業経営安定対策事業の普及推進等に努めるほか、漁業経営指導や漁政対策等にも積極的に取り組み、漁業者の経営安定、そして漁協経営基盤の強化に取り組んで参ります。

そのほか、関係機関と連携し、本県産魚介類の消費拡大やブランド化を目指した取り組みを展開し、産地価格の向上を図って参ります。

以上を基本方針とし、本年は下記事項を重点的に推進して参ります。

記

<重点推進事項>

1. 水産資源の管理・確立を図るための諸対策
2. 漁協の経営基盤の強化並びに漁業金融の推進
3. 漁家・漁協経営の安定・向上と漁業共済加入促進
4. 水産物の価格向上及び付加価値向上
5. 漁業用石油類及び資材類の安定供給
6. 各種漁業の生産基盤強化及び増養殖事業の推進
7. 水産物及び水産製品の消費拡大
8. 水産物の衛生管理
9. 漁業環境保全
10. その他漁業者及び漁協の経営に資する事項並びに漁業振興に資する事項

青森県漁連役員新体制

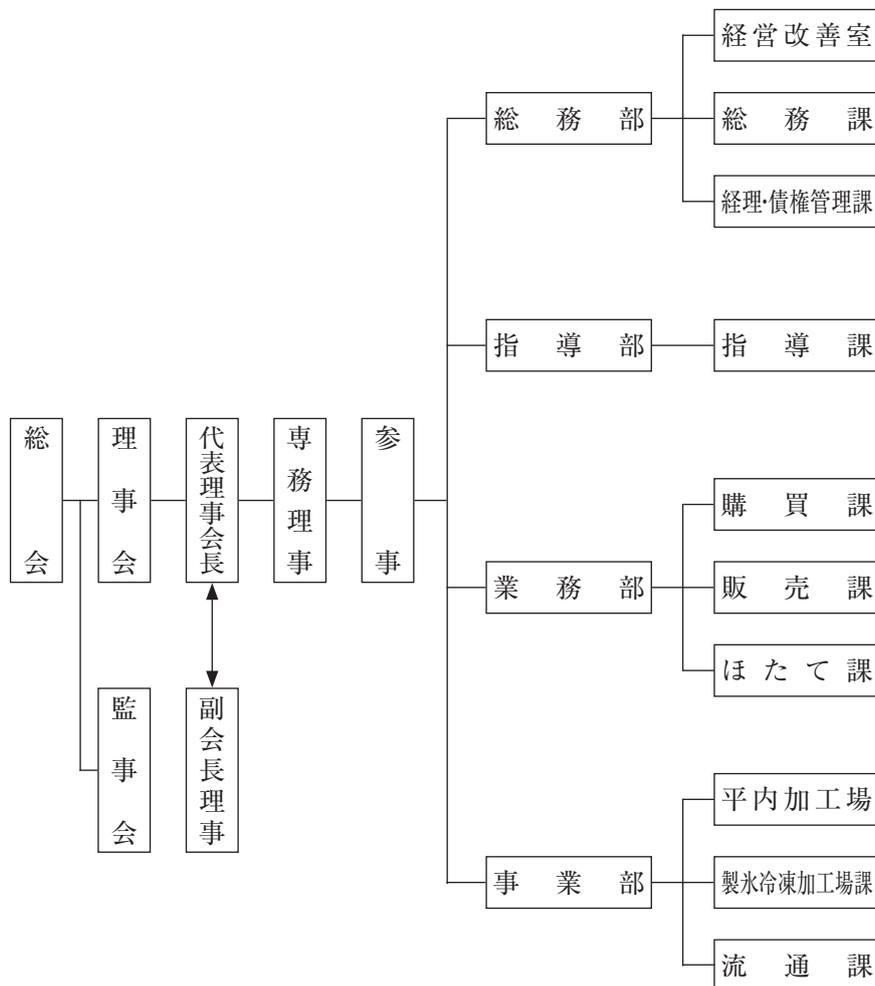
平成二十七年年度通常総会において役員補欠選任が承認され、役員の新体制が次のとおりとなりました。

役職名	氏名	所属漁協
代表理事会長	赤石 憲二	泊
副会長理事	三津谷 廣明	平内町
専務理事	小出 政明	員外
理事	木浪 昭	外ヶ浜
理事	川村 敏博	小田野沢
理事	二木 春美	横浜町
理事	山本 幸宏	深浦 (新任)
理事	田高 利美	大畑町 (新任)
代表監事	工藤 伍郎	十三
監事	山口 隆治	後潟
監事	岡沼 明見	八戸みなど

県漁連機構改革

平成二十七年三月三十一日開催の理事会において参事の選任が承認されました。また、4月1日に人事異動が行われ職員一同、心新たに業務に従事しております。この機構改革を機に役員一同、本県漁業・水産業の安定と発展のため最善を尽くして参りますので、倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い致します。

青森県漁業協同組合連合会機構図



平成二十七年 共販推進会議 開催

五月十六日、ホテルサンルート五所川原にて「西北地区共販推進会議」、七月四日、プラザホテルむつにて「下北地区共販推進会議」が開催された。昨年に続き第2回目となるが、魚価の低迷や漁獲量減少、燃油・漁業資材価格高止まりや消費税増税など漁業者を取り巻く環境や、物価の上昇・流通の多様化など買受業者を取り巻く昨今の環境等に係る情報を共有し、互いの経営安定に向け少しでも良い方向性を見出すため、県漁連・組合・買受業者間で活発な議論が交わされた。

「開催日時・場所」

西北地区 平成二十七年五月十六日(土)

午後二時

ホテルサンルート五所川原

「アクア」

下北地区 平成二十七年七月四日(土)

午後三時

プラザホテルむつ「フローラ」

むつ湾地区 平成二十七年九月開催予定

西北地区共販推進会議

案件

- 1) 県漁連共販取扱実績について
(日本海・海峡地区)
- 2) 西北地区鮮魚規格表について
- 3) 鮮魚介類の流通及び販売に係る協議について



県漁連並びに各組合職員(西北地区)



買受業者(西北地区)

下北地区共販推進会議

案件

- 1) 県漁連共販取扱実績について
(海峡・太平洋地区)
- 2) 下北地区鮮魚規格表について
- 3) 鮮魚介類の流通及び販売に係る協議について



挨拶する赤石会長(下北地区)



各組合職員並びに買受業者(下北地区)

平成二十七年一月一日から始まった未成魚マグロの漁獲規制や鮮魚規格改善など、活発な意見交換がありました。

太平洋クロマグロ 資源管理について

現在、わが国のマグロの消費量・漁獲量は世界でも中心的な位置にある。

また、本県沿岸におけるクロマグロは、スルメイカと同様に重要な魚種であり、他県に比べ依存度が高い状況にある。

今年1月から、太平洋クロマグロの小型魚(30^キ未満)の管理が全国一斉にスタートしたが、その内容は本県漁業の操業実態に即した方法とは言いがたく、多くの不安要素を孕んでいることから、漁期を迎える前に、県漁連では県と連携し、平成27年4月21日、浜の混乱抑制と漁業経営維持を目的とした要請を、水産庁・全漁連に対し行った。

しかし、マグロ漁が本格化した6月中旬、定置網にまとまった漁があり、日本海北部には7月上旬に「県警報」、7月下旬には「特別警報」及び「県操業自粛要請」が発出された。

又、太平洋定置については、6月下旬に「県警報」、7月中旬に「県操業自粛要請」が発出され、各浜へ不安が広がっている。



県、県漁連による合同説明会【太平洋地区】



県、県漁連による合同説明会【小泊】

この状況に対し県漁連は、各浜の代表者を参集しての説明会開催の他、現地へ赴き、浜の意見の集約に努めたが、一向に漁業者の不安は解消されず、混乱はいまだに収まる気配がない状況となっている。

漁獲半減は漁業所得の半減であり、借入金の返済や共済掛け金の支払いが出来なくなる等の深刻な問題に発展する。

このような状況を踏まえ、青森県漁連、青森県漁業経営安定対策本部は、浜の混乱を中央に伝える為、7月28日に全漁連会長へ、29日は本川一膳水産庁長官、本県選出国會議員に対し『浜の混乱解消と管理の徹底を図るため、国が漁業所得の減収分について直接補填を行い、必要な予算措置を講じる』よう強く要請をしております。



水産庁長官へ要請



全漁連会長へ要請



大島議員へ要請



木村議員へ要請

クロマグロ資源管理の流れ

- | | |
|---|---|
| H26. 6.30 クロマグロ漁業の資源管理等に係る説明会(青森市) | 6.26 県が太平洋定置に対し「県警報」発出 |
| 8.26 太平洋クロマグロの資源
養殖管理に関する全国会議(東京都) | 7. 9 日本海ブロック組合長会議(青森市) |
| 11.10 クロマグロ資源管理説明会【定置】(青森市) | 7.10 県が太平洋定置に対し「県操業自粛要請」発出 |
| H27. 2.12 クロマグロの資源管理に係る全体説明会(青森市) | 7.10 県が日本海全漁法に対し「県警報」発出 |
| 3.30 クロマグロの資源管理説明会
【太平洋北部ブロック】(青森市) | 7.16 太平洋ブロック組合長会議 |
| // クロマグロの資源管理説明会
【日本海北部ブロック】(青森市) | 7.17 クロマグロの資源管理説明会地区別会議(小泊)
// // (鰺ヶ沢) |
| 4. 7 マグロ資源管理計画及び
休漁補償共済関係組合会議(青森市) | // // (三厩) |
| 4.21 県漁連、経対本部連名により全漁連会長へ要請(東京都) | 7.27 県が日本海全漁法に対し「県特別警報」発出 |
| // 県、県漁連、経対本部連名により水産庁へ要請(東京都) | 7.28 県漁連、経対本部連名により全漁連会長、
県選出国會議員へ要請(東京都) |
| 5.11 日本海・海峡西部一本釣り
漁業の漁獲割り当てについて(青森市) | // 県漁連、経対本部連名により水産庁長官、
県選出国會議員へ要請(東京都) |
| 5.25 クロマグロの資源管理説明会
【各ブロックの管理細則】(青森市) | 7.29 県が日本海全漁法に対し「県操業自粛要請」発出 |

「むつ湾漁業振興会

設立四十周年記念式典」開催

去る七月十六日、むつ湾漁業振興会主催による「むつ湾漁業振興会設立四十周年記念式典」が青森市のウエディングプラザアラスカ四階「ダイヤモンド」において、関係者一〇〇名が参加のもと開催された。



記念式典を始める前に、昨年十二月二十三日にご逝去された、当振興会顧問 植村正治殿を始め、これまで当振興会の発展に貢献された物故者に対し、黙祷をささげた。式典は、主催者を代表して三津谷むつ湾漁業振興会会長が「当振興会は、ホタテ貝の一元集荷による販売体制の確立や消費の拡大、密漁監視体制の強化や原子力船対策等の漁政対策強化のため、昭和五十年六月四日、「青森県ほたて貝振興会」と「陸奥湾地区漁協経営対策協議会」が合併して設立された訳ですが、折しも当時、原子力船「むつ」の問題が深刻化し、昭和

四十九年の出力上昇試験に対する、漁船による出港阻止や、その後の放射能漏れ事故により、陸奥湾が揺れ動いた時期であり、植村前県漁連会長を先頭に陸奥湾の漁民が心を一つにして団結したことは生涯忘れられません。

また、設立と同時に発生した、ホタテ貝の異常へい死は、被害額が七〇億円を超え、再生産措置や天災融資法の適用を講じられるよう国・県に陳情したほか、原因究明を進めたところ、当時、東海大学海洋学部教授に就任された、山本護太郎先生が国の調査団団長として、調査にあたり、へい死原因を「過密養殖と不適切な養殖管理に水温の急上昇が引き金になって発生したもの」と特定したほか、陸奥湾におけるホタテ貝の許容枚数の算定による総量規制の考え方を示して戴き、ホタテ養殖技術の基礎研究にご尽力戴いた。そのおかげをもちまして、「ホタテ養殖の手引き」「ホタテ養殖ごよみ」を県と県漁連との連名で作成することができ、適正養殖の指導にあたることとなった次第である。

更に、昭和五十二年には、ホタテ稚貝の異常発生問題、昭和五十三年には、ホタテ貝毒問題、昭和五十四年には、トリ貝異常発生問題等が

ありましたが、昭和五十八年には、ホタテ生産金額が一〇〇億円を達成し、ホタテ産業は、本県の基幹産業にまで成長致しました。



三津谷むつ振会長挨拶

平成一七年に平内町にオープンした「ほたて広場」については、一〇〇億円達成記念で建立した「ほたて供養塔」をほたて広場に移設し、「ホタテの日」の記念イベントを開催する等「青森ホタテ」ブランドを全国に広める拠点として、その役割が期待されているところでもあります。

また、食の安全・安心の推進と陸奥湾ホタテ産業振興に繋がる「ホタテ貝毒機器分析」体制が本年三月から導入されたことは、正に植村前県漁連会長の指導力・尽力の賜物であり、感謝の気持ちでいっぱいであります。」と挨拶した。

次に来賓祝辞として、三村青森県知事は「今年の陸奥湾のホタテガイは、春季の実態調査の結果によると、へい死亡率も低く、成育状況も直近の五ヶ年では最もよい状況であり、関係者が、異常高温や冬の時化によるへい死対策を行ってこられた成果であると考えております。また、陸奥湾のホタテガイ産業は漁業者の生活を支えるだけでなく、加工業者や流通産業など地域の所得向上に大きく貢献する重要な産業です。このため、県では、ホタテガイのへい死亡率を低く抑えるための技術開発や、養殖管理に不可欠な湾内海水温等を観測・発信する「ブイロボ」新システムの七月末の稼働に向けた整備

に加え、今年から本州・四国及び福岡県への翌日配達を可能とする「A1プレミアム」輸送サービスを活用した、活ホタテや活魚の流通拡大などに取り組んでいます。皆様には、引き続き品質の確保と安定生産、消費拡大に向けた活動と一緒に頑張って取り組んで下さいますようお願い致します」と述べ、赤石県漁連会長は「陸奥湾のこれまでの歴史を顧みますと、設立当初のホタテ貝大量へい死や昭和五十三年の貝毒問題、平成二年の対フランス禁輸問題、平成二十二年には長期間の高水温などによる大量へい死の発生など多くの試練に直面しながらもそれを乗り越えてこられました。

平成二十六年年度の県漁連の鮮魚類とホタテ貝の共販実績は二五九億円、うち陸奥湾の取扱は一一九億円と全体の四十六％を占めており、ホタテ貝漁業が共販の柱として大きく貢献されている」と述べた。

引き続き、来賓紹介、祝電紹介後、表彰式に移った。受賞された皆様に対して感謝の意を表して大きな拍手をもって、むつ湾漁業振興会設立四十周年記念式典を終えた。

表彰者は以下のとおり。



赤石県漁連会長祝辞



三村県知事祝辞

青森県知事表彰

(むつ湾漁業振興会を創設し、あらゆる諸問題解決に尽力された)

(故人)植村正治様

青森県漁連会長表彰

(設立以来40年にわたり、組織として陸奥湾の様々な問題に対応しながら、会員漁協をまとめられた)

むつ湾漁業振興会

むつ湾漁業振興会会長表彰

(むつ湾漁業振興会の創設者であり、特別理事及び顧問として、更には様々な団体の長として本県の水産業を支えられた)

(故人)植村正治様

永年功勞役員表彰

(むつ湾漁業振興会の役員として永年ご尽力された)

三津谷 廣明様 立石 政男様
 須藤 十一郎様 横内 憲悟様
 (故人)植村 正治様 (故人)後藤 賀一様
 (故人)川村 春光様 (故人)柳 一様

優良会員表彰

(過去10年間のほたて貝取扱金額50億円以上を達成された漁協及び支所)

平内町漁協 青森市漁協 外ヶ浜漁協 横浜町漁協 蓬田村漁協
 平内町漁協小湊支所・浦田支所・清水川支所・茂浦支所・東田沢支所 外ヶ浜漁協蟹田支所

優良加工業者表彰

(過去10年間ほたて貝販売金額40億円以上を達成された加工業者)

成邦商事(株) (株)マルイチ横浜 (株)亀田商店 青森県漁連平内加工場 (有)北福海産 (株)山神

感謝状

(むつ湾漁業振興会の事業に対し積極的に取り組み、ご協力された団体・個人)

青森県産業技術センター水産総合研究所
 東青地域県民局地域農林水産部青森地方水産業改良普及所
 下北地域県民局地域農林水産部むつ水産事務所
 青森県ほたて流通振興協会 ほたて広場 県漁連指導部次長 松谷 誠 様



(表彰風景)

青森県 漁師自慢の魚
 《プライドフィッシュ》発進!

東北復興

水産加工品展示商談会

2015

JF青森漁連、JF岩手漁連、JFみやぎ、JF福島漁連、JF茨城沿海地区漁連、5県の復興状況やプライドフィッシュについて紹介!

六月十七日

(水)宮城県仙台市 仙台国際センターにて、東北復興水産加工品展示商談会 2015 「被災地復興プライドフィッシュPR試食会」へ参加し「陸奥湾ホタテ」「深浦マグロ」のPRを実施。



PRするむつ市漁協の木村参事

各漁連の代表者から
 地元が誇る自慢の魚を
 プレゼンテーション!

本県のプレゼンは、「陸奥湾ホタテ」について紹介。

「陸奥湾ホタテは、恵まれた自然環境の中で漁業者が1枚1枚大切に育てている。その大切に育てているホタテは、他にないまろやかな甘味が特徴で、剥きたてを刺身で食べるとプリプリとした歯ごたえで絶品。また、陸奥湾で獲れるホタテは、高タンパク・低脂肪でグリコーゲン等の栄養分を多く含んでいる。」と、陸奥湾ホタテの魅力と栄養面や養殖方法など、美味しさの秘密を丁寧にじっくりとPRした。

試食会レポート

「陸奥湾ホタテ」

陸奥湾は栄養豊富な恵まれた海。湾口が狭くなっている独特の地形によってできる

外洋との塩分の差もその味わいを深める一因になっている。新鮮な身は「プリプリ」トロリととろけるような甘味は絶品。「コリッ」としたヒモは食感のアクセントにもなっている」と紹介。



料理：陸奥湾ホタテの刺身
 深浦マグロの握り
 岩手わかめのにぎり
 エゾシカゲ貝の握り

「深浦マグロ」

モチモチとした食感の身を口に入れると広がるのは赤身ならではの濃厚な旨味! 脂はあくまでしつこくなく上品でさらりと喉へ抜けていく。淡麗でさっぱりした味わい。旬の本番に向けて、味がグッと深く乗っているのが実感できると紹介。



来場者の試食風景

平成二十七年度
 《青森県のプライドフィッシュ》
 春夏秋冬選定!

春「津軽海峡メバル」：メバルは白身でクセがなく、身の締りと淡泊で上品な味わいが特徴！

津軽海峡のメバルは、早い潮の流れで育ち、適度な運動量と豊富な餌を食べていることから肉質が良く、東京築地市場では高級魚として扱われており、全国的にも人気があります。



本県では、主に一本釣りや刺網で漁獲されており、漁獲後も丁寧に取り扱い、抜群の鮮度を保っています。全国的に「春告魚」の一つとされ、本県では春になると脂が乗り特に美味しくなります。その津軽海峡メバルを広く知ってほしいとの思いから中泊町では、新ご当地グルメ「中泊メバル膳」を開発し、更なるブランド化に取り組んでいます。

夏「モズク」：本県のモズクは養殖モズクとは異なる独特の歯触りと喉越しとネバリが特徴！

青森でモズクと言えばイシモズクで、こだわりの絹糸のような絹モズク（深浦）やエメラルドグリーン色のエメラルドモズク

（今別町）、つるつとした食感のクサモズク（大間町）等があります。一般に色が黒くて茎が太くネバリの強いものが良質とされ、7月頃が盛漁期で旬ですが、塩蔵や冷凍物は周年美味しく食することができます。



秋「青森県産ヤマトシジミ」：シジミは旨味成分と栄養成分が豊富で体に染み入る独特の美味さがあるのが特徴！

青森県のシジミは、十三湖・小川原湖とともに、味と品質の良さから全国ブランドとなっています。



シジミの生産地である十三湖には白神山系、小川原湖には八甲田山系の豊かな森からミネラル豊富な水が絶え間なく注がれています。

このミネラル豊富な水が濃厚な味わいで美味しいシジミを育てています。十三湖漁協・小川原湖漁協では、QRコードによるトレーサビリティ体制を整備し、安全で安心なシジミの生産、出荷に取り組んでいます。

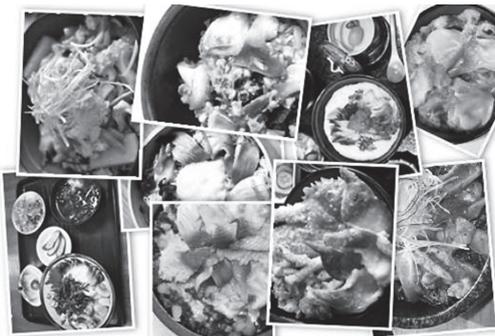
冬「ホッキ」：北国青森の冷たい海で育ったホッキ！適度な歯ごたえと独特の甘みが特徴！

青森県のホッキは、八戸から三沢にかけて南北に弓なりにのびる北浜海域で漁獲されます。

その北浜海域の四漁協（八戸みなど、市川、百石町、三沢市）で組織する「北浜ほっき貝資源対策協議会」は漁期・操業時間・一日の水揚量・稚貝放流などを管理しながら資源保護対策を行っています。その品質や美味しさから首都圏の市場で高い評価を受けています。



また、ホッキを手軽にもっと沢山の方々へ味わって頂きたいという想いから三沢市では地域を挙げ特産のホッキを使用した、ご当地丼「ほっき丼」の開発に取り組む、現在、市内三十店舗以上の飲食店で提供されています。



水産に関する主な動き(1月～7月)

1月	事 項	場 所
6日(火)	仕事始め	青 森 市
15日(木)	浜プラン策定推進にかかる常務者全国会議	東 京 都
26日(月)	全国漁連(県漁協)・信漁連会長・漁済組合長合同会議	東 京 都
28日(水)	青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会	青 森 市

2月	事 項	場 所
4日(水)	燃油高騰対策事業説明会	青 森 市
4日(水)～5日(木)	本会監事会、監査会	青 森 市
5日(木)	本会事業部担当理事会	青 森 市
5日(木)	本会理事会	青 森 市
12日(木)	クロマグロ資源管理実施に係る説明会	青 森 市
24日(火)	青森県原子力施設環境放射線等監視評価委員会	青 森 市
25日(水)	青森県定置漁業協会 通常総会	青 森 市
26日(木)	全国青年・女性漁業者交流大会	東 京 都

3月	事 項	場 所
4日(水)	全国漁連(県漁協)・信漁連専務参事会議	東 京 都
6日(金)	青森県漁協青年部連絡協議会 通常総会	青 森 市
11日(水)	全国漁連(県漁協)・信漁連会長会議	東 京 都
11日(水)	青森県漁業共済組合 臨時総会	青 森 市
13日(金)	漁業・養殖業漁場環境保全研修会	東 京 都
16日(月)	JFグループ購買全体会議	東 京 都
24日(火)	全国漁業協同組合連合会 臨時総会	東 京 都
30日(月)	クロマグロの資源管理に係る説明会	青 森 市
31日(火)	本会理事会	青 森 市

4月	事 項	場 所
7日(火)	マグロ資源管理計画及び休漁補償共済関係組合会議	青 森 市
10日(金)	青森県漁協専務参事会 通常総会	青 森 市
24日(金)	青森海藻干魚会 通常総会	青 森 市
27日(月)	本会業務部担当理事会	青 森 市
27日(月)	本会理事会	青 森 市
30日(木)～1日(金)	本会監事会、監査会	青 森 市

5月	事 項	場 所
11日(月)	青森県東部海域漁業協議会 通常総会	青 森 市
11日(月)	青森県小型いか釣漁業協議会 通常総会	青 森 市

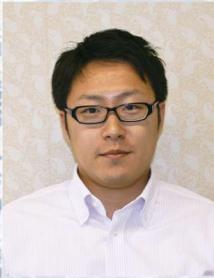
5月	事 項	場 所
12日(火)	漁連(県漁連)・信漁連会長ブロック会議	東 京 都
13日(水)	浜の活力再生プラン推進全国会議	東 京 都
16日(土)	西北地区共販推進会議	五所川原市
21日(木)	本会理事会	青 森 市
22日(金)	青森県漁協組合長会議	青 森 市
22日(金)	本会役員推薦委員選出協議会	青 森 市
22日(金)	青森県昆布協会 通常総会	青 森 市
25日(月)	本会理事会・監事会	青 森 市
25日(月)	本会役員推薦会議	青 森 市
25日(月)	太平洋クロマグロの資源管理に関する説明会	青 森 市
26日(火)	青森県ほたて流通振興協会 通常総会	青 森 市
28日(木)	(一社)青森県漁港漁場協会 定時総会	青 森 市
28日(木)	(一社)青森県水産振興会 通常総会	青 森 市
29日(金)	青森県漁船保険組合 通常総代会	青 森 市
6月	事 項	場 所
2日(火)	東北地方海難防止強調運動推進連絡会議	宮 城 県
3日(水)	青森県栽培漁業振興協会 定時社員総会	青 森 市
9日(火)	青森県漁場監視団連合会 通常総会	青 森 市
11日(木)	青森県漁船海難防止・水難救済会 通常総会	青 森 市
15日(月)	青森県J F 共済推進本部 定例総会	青 森 市
15日(月)	青森県漁業信用基金協会 通常総会	青 森 市
17日(水)	本会通常総会・理事会・監事会	青 森 市
17日(水)	青森県漁業経営安定対策本部 通常総会	青 森 市
19日(金)	青森県信用漁業協同組合連合会 通常総会	青 森 市
19日(金)	青森県漁業共済組合 通常総会	青 森 市
19日(金)	青森県漁業環境保全振興協会 通常総会	青 森 市
19日(金)	むつ湾漁業青色申告会連合会 通常総会	青 森 市
21日(日)	ほたて供養祭	平 内 町
23日(火)	全国漁業協同組合連合会 通常総会	東 京 都
25日(木)	全国漁青連グループリーダー研究集会	東 京 都
26日(金)	全国漁青連 通常総会	東 京 都
29日(月)	(公社)青森県漁協経営安定対策協会 通常総会	青 森 市
29日(月)	青森県新漁業協同組合運動協議会 協議会	青 森 市
7月	事 項	場 所
2日(木)	本会事業部担当理事会	青 森 市
2日(木)	本会理事会	青 森 市
4日(土)	下北地区共販推進会議	む つ 市
6日(月)	青森県漁船保険組合 臨時総代会・組織統合一元化説明会	青 森 市
13日(月)	(一社)日本定置漁業協会 通常総会	東 京 都
16日(木)	むつ湾漁業振興会 通常総会・創立40周年式典	青 森 市
23日(木)	青森県さけます増殖流通振興協会 通常総会	青 森 市

県内漁協組合長改選状況報告

(平成27年6月30日現在)

漁協名	新組合長名	前組合長名
車力	尾野明彦	松野昭一
下前	永坂富士男	角田順一
蓬田村	福田幸生	坂本重彦
佐井村	坂井幸人	田中勝年
大間	田中勝	濱端廣文
下風呂	橋和幸	平井賢一
尻屋	南谷雅人	川島秀巳
三沢市	種市廣喜	門上馨
八戸市南浜	深川修一	石井作美

青森県漁連新人職員紹介



工藤 了

(購買課)

趣味…スポーツ観戦

県漁連に入会して4ヶ月近くが経ち、先輩方のご指導のもと、業務内容を一歩ずつ理解してきております。

今はまだ自分の業務をこなすのに手一杯ではありますが、これから多くの経験を積んでいく中で、余裕を持った行動が出来るよう努めて参りますのでよろしくお願い致します。



伊藤 貴大

(平内加工場)

趣味…釣り、音楽鑑賞

県漁連に入会しまして4ヶ月が経ち、7月からは試用期間が終わり職員となり働かせて頂いています。上司や先輩方からのご教示を頂きながら少しずつでも確実に成長していき、青森県水産業の発展と維持に貢献していけるような人間になれるよう努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

平成27年8月28日

〈発行〉青森県漁業協同組合連合会 青森市安方一丁目1番地32号 TEL017-722-4211(代)

〈印刷〉ワタナベサービス株式会社